

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【公表番号】特表2014-500049(P2014-500049A)

【公表日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-001

【出願番号】特願2013-535450(P2013-535450)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/42 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/42

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月11日(2014.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中間体(30)に枢動可能に接続された第1の基本要素(40)および第2の基本要素(50)を備える人工関節と、前記第1の基本要素(40)から延在する第1の突起部(41)と、前記第2の基本要素(50)から延在する第2の突起部(51)とを備えたキットオブパーツであって、

中心孔(63)を有し、第1の骨部材(6)に固定された第1のねじデバイス(60)と、

中心孔(73)を有し、第2の骨部材(7)に固定された第2のねじデバイス(70)とを備え、

前記第1の突起部(41)および前記第2の突起部(51)は、前記第1の骨部材(6)の前記中心孔(63)および前記第2の骨部材(7)の前記中心孔(73)にそれぞれ圧入されるように構成され、

各突起部(41, 51)は、それぞれの突起部(41, 51)とねじデバイス(60, 70)との間の把持力を増加するための突起(411, 511)を含み、

前記中心孔(63, 73)は、それぞれの突起部(41, 51)を受容するための軸方向の円形ボアを有し、

前記中心孔(63, 73)は、それぞれの突起部(41, 51)を受容するための軸方向の円形ボアを有することを特徴とする、キットオブパーツ。

【請求項 2】

前記突起(411, 511)は細長い、請求項 1 に記載のキットオブパーツ。

【請求項 3】

前記第1の突起部(41)、および前記第1の突起部(41)の前記突起(411)は、共通の方向に延在し、

前記第2の突起部(51)、および前記第2の突起部(51)の前記突起(511)は、共通の方向に延在する、請求項 1 または 2 に記載のキットオブパーツ。

【請求項 4】

前記突起は、ギザギザ(411, 511)の形状を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のキットオブパーツ。

【請求項 5】

前記突起（４１１，５１１）は、各突起部（４１，５１）について、少なくとも６つの突起を含む、請求項１～４のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項６】

前記突起（４１１，５１１）は、それぞれの突起部（４１，５１）の周囲に沿って離間している、請求項１～５のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項７】

前記突起（４１１，５１１）は、前記突起部（４１，５１）が前記第１および第２のねじデバイス（６０，７０）に圧入されるときに、変形するように構成される、請求項１～６のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項８】

それぞれの前記突起部（４１，５１）の前記突起（４１１，５１１）は、０．２～０．５ mmの距離だけ離間され、

前記突起（４１１，５１１）の各々は、１．０～３．０ mmの長さを有し、

前記突起（４１１，５１１）の各々は、０．１～０．５ mmの幅を有する、請求項１～７のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項９】

前記突起（４１１，５１１）の各々は、それぞれの前記基本要素（４０，５０）からある方向にテーパ状にされ、

各突起部（４１，５１）は、円形断面を有する、請求項１～８のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項１０】

各突起部（４１，５１）は、それぞれ、１．０～３．０ mmの直径を有する円形終端セクションを有し、

各突起部（４１，５１）は、それぞれの基本要素（４０，５０）から、２．８～５．８ mm延在する、請求項１～９のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項１１】

前記中間体（３０）は、第１の凸型曲面（３１）および第２の凸型曲面（３２）を含み、

前記第１の基本要素（４０）は、前記第１の凸型曲面（３１）に対面する第１の凹型曲面（４６）を含み、

前記第２の基本要素（５０）は、前記第２の凸型曲面（３１）に対面する第２の凹型曲面（４６）を含み、

多くのピン要素（８１，８２，８３）は、前記基本要素（４０，５０）を前記中間体（３０）に枢動可能に接続する、請求項１～１０のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項１２】

中手指節間関節、近位指節間関節、または遠位指節間関節を置換するように構成される、請求項１～１１のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項１３】

前記中心孔（６３）は、前記第１および第２のねじデバイス（６０，７０）がトルクスドライバ（torx driver）（登録商標）を用いることによって、患者の骨にねじ込まれることを可能とするトルクスヘッド（torx head）（登録商標）を有する上部セクション（６４）を含む、請求項１～１２のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項１４】

前記突起部の材料は、前記ねじデバイスが作られる材料よりも硬い材料で作られている、請求項１～１３のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。

【請求項１５】

前記突起部は、防食かつ防酸のクロムニッケルモリブデン合金鋼で作られており、

前記ねじデバイスは、アルミバナジウムチタン合金で作られている、請求項１～１４のいずれか１項に記載のキットオブパーツ。